

新製品紹介

可視・近赤外用光ファイバケーブル

本製品は、可視から近赤外の領域（波長約 0.6 μm ～ 1.0 μm ）の光の分岐に適したシングルモード光ファイバケーブルです。従来、シングルモード光ファイバケーブルは、主に光通信の分野（波長約 1.0 μm ～ 1.6 μm ）で使用されてきました。近年、工業分野における計測・計量や、医療分野における診断（例えば、Optical coherent tomography (OCT) など）のために、光ファイバを応用した製品のニーズが高まっており、これらのニーズにこたえるために開発されました。特に、計測・計量用途では当社の PANDA ファイバを用いた偏波保持型、OCT 用途では当社の保有技術を用いた広帯域化を実現しています。

製品仕様例を表1に、可視・近赤外用光ファイバケーブルを図1にそれぞれ示します。

特長

1. 高い信頼性

- ・長年培った光通信分野で実績のある技術を採用。
- ・光が空間を伝搬しないため、耐パワー性が高く、光路調整などのメンテナンスが不要。

2. 柔軟な設計対応

- ・偏波保持型や分岐比、波長特性等、自由度の高い設計が可能。

（光事業部 光ファイバ開発部 瀬木）

表1 製品仕様例

項目	可視光用	近赤外用	
中心波長 ^(注)	0.63 μm	0.85 μm	1.0 μm
分岐比 ^(注)	10 % ～ 50 % の範囲で選択可能		
本体サイズ（長さ / 直径）	75 mm / 3 mm	50 mm / 3 mm	

（注）設計の中心値

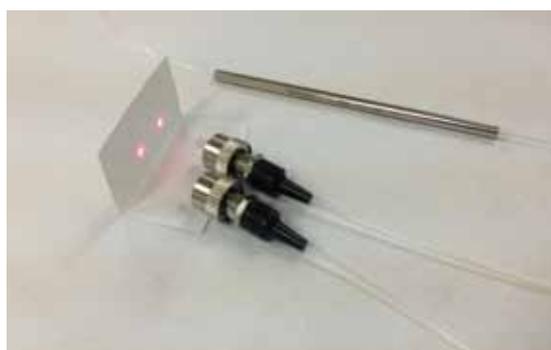


図1 可視光用光ファイバケーブル

[お問い合わせ]

光事業部 光ファイバ開発部

TEL : 043-484-0982 FAX : 043-484-2186

E-mail : optodevice@jp.fujikura.com